

モンタナ州：小麦作柄と気象状況

2002年10月8日

2002年10月6日現在

10月6日に終わる1週間の州平均農作業可能日数は4.9日であった。土壌水分は前週の降水で多少改善された。降水は州全域で見られた。多いところでは1週間の降水量1.72インチを記録した。気温は略平年並みであり、最高気温は65～70度F、最低気温が22～33度F程度。

2003年産冬小麦は82%の圃場で完了し、平年(82%)と並び、昨年(68%)より早い進捗である。51%の圃場で出芽しており、生育状況は昨年(33%)、平年(30%)より早い。

2002年産春小麦は、天候不順により殆ど前週より進んでいない。10月6日現在92%の圃場で収穫が完了した(前週:91%)。昨年(99%)並びに平年(98%)より遅れている。

土壌水分：

Topsoil

	This week	Last week	Last year	5-yr. Ave.
Very short (%)	19	18	48	30
Short (%)	36	36	40	42
Adequate (%)	43	46	12	27
Surplus (%)	2	0	0	1

Subsoil

Very short (%)	32	39	58	36
Short (%)	39	36	35	39
Adequate (%)	28	25	7	25
Surplus (%)	1	0	0	0

小麦進捗状況：

	This week	Last week	Last year	5-yr. Ave.
2003 Winter wheat				
Seeded (%)	82	74	82	68
Emerged (%)	51	31	33	30
Spring wheat				
Harvested (%)	92	91	99	99

Source: Montana Agricultural statistics Service

2002年産硬質春小麦の品質：

モンタナ州東部の品質は、これまでの情報に拠れば昨年に比較し高蛋白質、低容積重と報告されている。蛋白質(as is moisture)は平均15.5%、容積重は58.46lb/bu程度とのレポートがある。昨年同時期・同地区の蛋白質は平均14.18%であった。